（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表　多機能型事業所（児童発達支援）

○事業所名	てとてのキッズ　多機能型事業所（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和8年1月16日	～	令和8年2月1日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日	～	令和8年2月6日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　3月　２５日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児や服薬管理が必要なお子様も集団経験ができる環境が整っている。 ・医療連携体を法人内すがはら病院・訪問看護ステーションと結び看護体制を整えている。 ・緊急時は、協力医療機関（すがはら病院）の医師がかけつけ対応してもらえる。	・医療的ケア児の受入れ時には、医師、看護師、児発管・保育士等で会議を設けることでお子様の情報共有や緊急時に備えた対応を取っている。 ・かかりつけ医より診療情報提供書をいただき連携を図っている。	・看護師の体制の強化
2	今年度より、医療ケア児のみではなく強度行動障害児も受入れを行っている。	・強度行動障害の理解を深めるために、研修取得を促している。 ・支援終了後の情報共有でお子様の状況や職員の課題等を随時共有している。	・職員の育成 ・勉強会などの研修の時間の確保
3	保育園と児童発達支援（長時間療育）との併用支援で子ども達の発達を促し、移行支援を目指している。（園に行ける頻度を増やしていく）	保護者のニーズやお子様の状況に合わせたサービスの提供のご案内・提供に努めている。 ・家庭での様子や集団の様子等情報共有に努め療育に反映させている。 ・管理栄養士と連携をとりながら、手作りの給食提供やお子様の摂食状況に応じた食事形態に対応している。	・各関係機関との良好な関係を結ぶために情報共有の場を増やしていきたい。（ニーズの把握）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師の配置を増やしていきたい。	現在は１名の看護師で運営をしている。	看護師の新規採用に努め、安心して休める環境を整えていきたい。（急な休み時は医療連携を取っている訪問看護と相談している。）
2			
3			